

一般質問（要旨） 「市政のここを問う」

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は5月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



「ふっさっ子スタンダード」について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 改定された「ふっさっ子スタンダード」が4月から配布される。その改定作業や改定のポイント、各学校での活用について伺う。

教育長 平成27年の「ふっさっ子スタンダード」策定後の学び方や生活の変容を踏まえ、修正点や追記したい内容を子どもたちや教職員、P

T A等に伺った。小・中学校共通の改定ポイントは、①主体性の育成を重視したこと②自己調整力の育成を重視し、子どもが自分で目標を決める内容にしたこと③情報活用能力の育成を重視し、iPad活用の項目を新設したこと④コロナ禍での新しい生活様式の視点を付加したこと

4点。また「幼稚園・保育園生家庭生活10ヶ条」では、園長会からの意見を受け、保護者自身が取り組みたいと思える内容や表現へ10ヶ条中9ヶ条を改めた。移行の際は、これまでのスタンダードを身につけた子どもたちに配慮し、改定内容を丁寧に説明するよう、各学校に助言する。

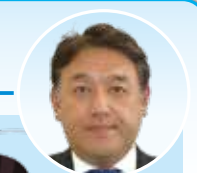


▲改定された「ふっさっ子スタンダード」

「福生市立学校の体力向上策改定版」について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 改定の経緯やポイント、また各学校はどのように子どもたちの体力を向上させるのかを伺う。

教育長 策定から5年が経過し、新型コロナウイルス感染症の影響による環境の変化や学習指導要領の改定を受け、その趣旨を踏まえた取り組みの推進や、iPadの効果的な

活用を図ること等をポイントに改定を進めた。令和4年度以降は本計画を活用し、子どもたちの体力向上に全力で取り組む。

学校における新型コロナウイルス感染症対策の現状について

質問 市内の各小・中学校における感染症対策の取り組みを伺う。

教育長 市教育委員会のガイドラインに基づき、児童・生徒には3密回避、正しい手洗い、体調が悪いときは無理に登校しないよう指導。授業時には指導形態の工夫や定期的な換気、給食時には黙食を徹底している。保護者等への学びの状況の公開は、オンラインを活用し実施する。



学童クラブとふっさっ子の広場の一体型事業について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 国連の子どもの権利条約の理念である「子どもの最善の利益」をいかに実現するかが求められる。これまでも放課後の居場所に子どもの権利の視点はあるか確認してきたが、福生第七小学校で試行実施中のこのモデル事業をどう評価するのか伺う。

市長 この事業は全ての児童に安

全・安心な居場所を確保し、児童と一緒に時間や体験を共有して健全な育成を図ることを目的としている。合同で開催したイベントも大変好評であった。また、柔軟な職員配置が可能となり、学校側との連携もより円滑になったと考えている。

今後の取組について

質問 事業の今後の展開を伺う。

市長 令和4年度からは第三、第六小学校にも拡大する。家庭学習の補完等、新しい取り組みも含め、合同イベントをより充実させるとともに、令和9年度を目途に市内全小学校に一体型事業を展開し、福生の子どもたちの健全な育成を図りたい。



▲学童クラブとふっさっ子の広場の合同イベントの様子

障がい者・障がい児の外出支援について



公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 視覚障害者への同行援護サービスの基準設定は、市町村の裁量に委ねられているが、本市では利用時間の制約がある。基準時間で一律にくくるのではなく、個々人に合わせフレキシブルに対応することが重要と考えるが、所見を伺う。

市長 単独で外出困難な障害者の

移動支援は、障害者の社会参加を促進する上で大切な支援と考える。各市町村はあらかじめ支給決定基準を定めることとされており、本市も国庫負担基準や毎年の給付状況を踏まえ、3年に一度基準を設定している。目安としての基準はあるが、個々の障害状況や生活環境、本人の意向を

詳しく伺い、適正な支援の範囲で公平なサービスの提供に努める必要がある。そのためには、自立につながるサービスの提供をしつつも、一定のルールは必要と考える。引き続き、必要な方にサービスを適切にご利用いただけるよう努めたい。



就学前の障害児及び特性のある子どもへの対応等について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 近年、幼児教育・保育の現場では、障害児や特性のある子どもたちの増加が大きな課題となっている。市の対応と解決への所見を伺う。

市長 市では、保護者の個別相談対応や保育現場への巡回相談対応、通所サービスや保育士の人材募集の支援等を実施してきたが、急激な増

加に対処できなくなっている。財政的及び人的な支援、療育へつなげる仕組みづくりなどが急務で、市の方針を早急に固め対応したい。

住居表示の整備等について

質問 福生駅西口の再開発などでまちが変わる中、誰もが分かりやすく訪れやすい街にするため、住居表

示の整備の検討も必要ではないか。

市長 本市はこれまで住居表示に関する法律に基づく住居表示は行っていない。実施した場合、慣れ親しんだ地域の名称変更、住民票、戸籍や資産関係で住居表示番号と地番の2つを持つことによりご不便をおかけするため、実施は難しいと考える。

